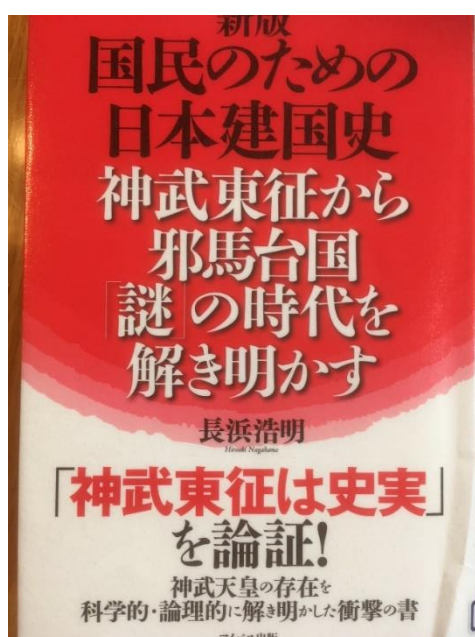


下記の書を一気に読了した。某国の反日もここに起因するかもしれぬ。何れにしろ、大東亜戦争後の歴史否定の風潮に染まった我等日本人もそろそろ、真実の眼をもって古代史を見つめ直すべき秋に来ているのではないだろうか？

国民のための日本建国史(副題 神武東征から邪馬台国「謎」の時代を解き明かす)

「神武東征は史実」を論証！神武天皇の存在を科学的・論理的に解き明かした衝撃の書
アイバス出版 2017年2月17日改定新版第1刷発行



著者紹介

長浜浩明

昭和 22 年群馬県生まれ 東工大建築学科、修士課程専攻、工学博士 (株)日建設計入社

「文系ウソ社会の研究」

「続 文系ウソ社会の研究」

「日本人ルーツの謎を解く」

「古代日本「謎の時代を解き明かす」

「韓国人は何処から来たか」等

要点等(文責山下)

- 1 第1章 日本人と韓国・中国人は別人種だった
- 第2章 韓国国立中央博物館の衝撃
- 第3章 東アジア「正史」の記す日韓の建国史

司馬史観などの影響もあり、日本人は半島からの渡来系弥生人(縄文人を駆逐若しくは縄文人との混血、或いは大陸からの騎馬民族渡來說など諸説があり、殆どの日本人が日本人の祖先は半島等であると信じ込まされているが、以下の点からその論は可笑しい。

- ①日本語と韓国語或いは中国語は、全く言語的なつながりはないことは明確だ。
- ②分子人類学的分析、ヒトのY染色体分析結果によれば、人種的に別系統とみるべきだ。
- ③旧石器時代の遺跡は多数発見されており、日本の歴史は、旧石器時代から始まっているとみるべきだ。この時代に半島人は絶滅、半島は5千年間無主の地だった。今の韓国・朝鮮人の直接の先祖は、約4000年前の新石器時代人からであるとされる。では当時以前の半島の主人公は誰か？縄文人である。

韓国の正史「三国史記」によれば、新羅王族の祖先は日本からやってきたとされる。

終戦直後、津田左右吉博士は、「日本の国家は日本民族と称し得られる一つの民族によって形づくられた。この日本民族は近い所に親縁のある民族を持たぬ。大陸におけるシナ民族とは、もとより人種が違ふ。朝鮮、満州、蒙古方面の諸民族とも違ふので、このことは体質からも、言語からも、また生活の仕方からも知り得られよう。」(建国の事情と万世一系の思想 1946) と喝破しておられる。

2 第4章 神武東征を裏付けた「大阪平野の発達史」

神話と教えられてきた我々にとって、非常に興味深い内容である。記紀に記された神武東征描写そのものの地形が、大阪平野に現れることが、地質学の研究の進展によって明らかとなったのである。大阪平和の発達史は大阪府史に明確に記述されており、その状況と神武東征の描写が不都合なく合致するのである。神社の社伝とも一致している。

また、同時代の文献、記紀は云うに及ばず、三国志、後漢書や三国史記にも邪馬台国東遷が記述すらされていない。

従って、神武東征否定論、邪馬台国東遷論、邪馬台国大和論は瓦解したと筆者は結論付けている。それは即ち神武天皇実在論に他ならない。

3 第5章 神武天皇はいつ即位されたか

記紀に疑義が呈される要因の一つに、天皇の長寿がある。優に 100 歳を超える天皇が 8 名以上おられ、常識的ではない。年紀には春秋年なるものがありこれが使われていた可能性が有るとのことだ。皇紀と実年が確実に一致する年代を起点に過去へ遡り、崩御年齢や在位年数等を考慮し、百済の年紀と照合してみると紀元前 70 年になる。これは神武東征時代の大阪平野の時代にも合致する。紀元前 70 年に即位されたと考えるのが妥当だろう。

4 第6章 女王国の都・邪馬台国はどこにある

戦後の古代史論は、記紀の否定から始まり、魏志倭人伝が重視されてきた。魏志倭人伝の様々な解釈の違いにより、特に旅程や方角を弄繰り回して、邪馬台国の位置も様々に比定してきた。歴史家は、魏志倭人伝の「倭国・倭人」を「日本・日本人」としていたが、倭国とは北部九州が中心であり、倭人の住む地域とは北部九州に加えて半島南部一帯を指すと捉えるべきだ。一里も約 70m とするのが妥当だろう。

これらから、邪馬台国は筑後川下流の南方、旧山門郡周辺が有力候補となる。旧地番で、福岡県山門郡瀬高町、現在のみやま市瀬高町女山（ぞやま）の西の高台女山神籠石周辺に卑弥呼の宮殿があったのではないかと推定される。

「倭人男子は大小となく皆鯨面文身す」と魏志倭人伝にあり、考古学資料 鯨面絵画・土偶も多数輩出している。が奈良盆地からは出土していない。これは天孫族にはこの習慣がなかったからだと推定される。ということは、鯨面文身する倭国は奈良盆地ではないということの証明でもある。

5 第7章 大和朝廷は如何にして統一されたか

ある古代史家は、神武天皇の戦いを残虐非道なものとして描いているが、その後の政権運営を見ると実情は必ずしもそうではない。

後漢書倭伝によれば、倭国は倭人をシナに献上していたことは確かである。それが「生口」である。一方大和朝廷にはそのような事実はなく、大和朝廷と邪馬台国の価値観の相違が明らかである。

「任那」は、御間城天皇の名前から命名された。

6 第8章、第9章は割愛するも一点のみ

天皇家は近親婚が当たり前だったとの論があるが、それは事実を反する。

7 終章 何故、古代史はおかしくなったか

米国の占領方針「歴史を失わせ滅ぼす」、米国指令による「教職追放令」「検閲」等々により自己検閲が蔓延り迎合する者も多くして、結局大学には「記紀」否定論者だけが残った。

終りに